

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 秋川牧園
 コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 秋川 正
 (氏名) 原田 良人

TEL 083-929-0630

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,414	7.3	△16	—	△18	—	△30	—
27年3月期第2四半期	2,250	6.8	△29	—	△33	—	△42	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △28百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △39百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△7.38	—
27年3月期第2四半期	△10.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	4,142	1,326	32.0	317.99
27年3月期	4,026	1,368	34.0	328.15

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,326百万円 27年3月期 1,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	5,040	4.3	95	26.7	80	11.0	42	△10.3	10.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ゆめファーム、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	4,179,000 株	27年3月期	4,179,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	7,510 株	27年3月期	7,510 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	4,171,490 株	27年3月期2Q	4,172,858 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国の経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策などを背景に、企業収益や雇用環境の改善が進み、設備投資も持ち直すなど、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながらその一方で、中国の景気減速をはじめとする世界経済の下振れ懸念など依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、円安の影響による原材料価格の高騰など、依然として厳しい環境にありますが、輸入食品の信頼性に対する不安や健康意識の高まりもあり、消費者の食の安心・安全に対する関心は再び高まっております。

このような状況の中、当社の主たる販売先である産直型の生活協同組合及び宅配会社に対する主力の鶏肉及び冷凍加工食品の販売は堅調に推移し、また、直販事業の会員数も伸長したことから、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費等の増加がありましたが、売上高の増加や、鶏肉パックセンターの生産性向上等により増益となりました。

なお、当社グループの売上は鶏肉等の需要が秋から冬にかけて多くなるため、利益の大半が下半期に発生する傾向があり、当期につきましてもその形で推移するものと見込んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、24億14百万円(前年同期比7.3%増)、営業損失は16百万円(前年同期は29百万円の損失)、経常損失は18百万円(前年同期は33百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は30百万円(前年同期は42百万円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(生産卸売事業)

主に産直型の生活協同組合及び宅配会社へ販売している鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵、牛乳等で構成される生産卸売事業につきましては、主力の鶏肉及び冷凍加工食品を中心に販売が前年同期を上回ったため、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、鶏肉の原料及び製品在庫の不足等による冷凍食品工場の生産性の低下があったものの、売上高の増加や、鶏肉のパックセンターの生産性向上等により増益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、19億96百万円(前年同期比5.4%増)、営業利益は1億15百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

(直販事業)

当社の食品を中心に一般消費者に直接商品をお届けする直販事業につきましては、全国向けの宅配の会員数が首都圏を中心に伸長し、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、運賃や会員募集費等の販売費及び一般管理費の増加がありましたが、売上高の増加により増益となりました。

この結果、直販事業の売上高は、4億17百万円(前年同期比17.4%増)、営業利益は4百万円(前年同期は0百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、1億16百万円増加し、41億42百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億14百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億58百万円増加し、28億16百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ42百万円減少し、13億26百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度まで非連結子会社であった(株)ゆめファームは重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は、軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	769,867	884,250
受取手形及び売掛金	577,310	558,436
有価証券	20,477	20,479
商品及び製品	103,562	103,203
仕掛品	204,126	214,419
原材料及び貯蔵品	62,993	63,104
繰延税金資産	18,332	16,521
未収入金	115,425	115,963
その他	33,476	24,438
貸倒引当金	△1,443	△1,142
流動資産合計	1,904,129	1,999,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	668,383	662,717
機械装置及び運搬具(純額)	285,993	300,663
土地	879,562	881,802
建設仮勘定	24,881	41,947
その他(純額)	96,711	95,043
有形固定資産合計	1,955,532	1,982,174
無形固定資産		
のれん	38,003	36,179
その他	26,333	25,095
無形固定資産合計	64,337	61,274
投資その他の資産	102,609	99,571
固定資産合計	2,122,479	2,143,021
資産合計	4,026,608	4,142,696
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	365,413	408,330
短期借入金	961,128	950,325
リース債務	12,830	12,988
未払法人税等	23,507	14,625
賞与引当金	21,528	43,867
その他	280,055	245,601
流動負債合計	1,664,462	1,675,738
固定負債		
長期借入金	688,140	827,289
リース債務	24,062	17,528

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
繰延税金負債	25,642	25,891
退職給付に係る負債	210,510	222,597
役員退職慰労引当金	44,914	47,120
固定負債合計	993,269	1,140,426
負債合計	2,657,732	2,816,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	554,541	553,441
利益剰余金	86,471	43,028
自己株式	△4,381	△4,381
株主資本合計	1,350,781	1,306,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,094	20,294
その他の包括利益累計額合計	18,094	20,294
純資産合計	1,368,876	1,326,532
負債純資産合計	4,026,608	4,142,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,250,533	2,414,231
売上原価	1,783,278	1,899,434
売上総利益	467,255	514,797
販売費及び一般管理費	496,752	531,555
営業損失(△)	△29,497	△16,758
営業外収益		
受取利息	301	203
受取配当金	789	798
補填金収入	487	2,044
補助金収入	740	1,486
その他	1,640	1,913
営業外収益合計	3,958	6,446
営業外費用		
支払利息	8,325	7,803
その他	41	50
営業外費用合計	8,367	7,853
経常損失(△)	△33,906	△18,164
特別利益		
固定資産売却益	1,527	687
補助金収入	4,500	—
特別利益合計	6,027	687
特別損失		
固定資産売却損	290	1,045
固定資産除却損	1,195	163
固定資産圧縮損	4,500	—
特別損失合計	5,985	1,209
税金等調整前四半期純損失(△)	△33,864	△18,686
法人税、住民税及び事業税	8,338	11,129
法人税等調整額	△24	1,021
法人税等合計	8,313	12,150
四半期純損失(△)	△42,177	△30,837
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△35
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,177	△30,801

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△42,177	△30,837
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,932	2,199
その他の包括利益合計	2,932	2,199
四半期包括利益	△39,244	△28,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,244	△28,601
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△35

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△33,864	△18,686
減価償却費	130,571	141,132
のれん償却額	6,659	1,824
貸倒引当金の増減額(△は減少)	419	△304
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,379	22,338
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,258	12,086
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,263	2,205
受取利息及び受取配当金	△1,090	△1,002
支払利息	8,325	7,803
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,237	358
有形固定資産除却損	1,195	163
売上債権の増減額(△は増加)	7,369	19,779
たな卸資産の増減額(△は増加)	△57,971	△8,136
未収入金の増減額(△は増加)	7,745	△490
仕入債務の増減額(△は減少)	35,831	42,915
補助金収入	△4,500	—
固定資産圧縮損	4,500	—
その他	△13,485	△42,814
小計	101,325	179,173
利息及び配当金の受取額	1,090	1,002
利息の支払額	△8,295	△7,809
補助金の受取額	4,500	—
法人税等の支払額	△9,028	△18,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,592	154,301
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△236,663	△144,960
有形固定資産の売却による収入	2,525	1,579
貸付けによる支出	△1,440	△3,700
貸付金の回収による収入	5,253	4,517
ソフトウェアの取得による支出	△18,356	△2,337
その他	1,033	△1,102
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247,647	△146,002

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	—
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△111,881	△371,654
配当金の支払額	△12,448	△12,405
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△1,100
自己株式の取得による支出	△808	—
その他	△6,497	△11,554
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,635	103,285
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△189,690	111,584
現金及び現金同等物の期首残高	959,304	790,344
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	2,800
現金及び現金同等物の四半期末残高	769,613	904,729

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	1,894,715	355,817	2,250,533
セグメント間の内部売上高 又は振替高	85,641	1,143	86,784
計	1,980,357	356,960	2,337,318
セグメント利益又は損失 (△)	105,887	△668	105,218

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	105,218
のれんの償却額	△6,659
全社費用(注)	△128,057
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△29,497

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	1,996,328	417,903	2,414,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	127,268	974	128,242
計	2,123,596	418,877	2,542,474
セグメント利益	115,044	4,081	119,126

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	119,126
のれんの償却額	△1,824
全社費用(注)	△134,060
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△16,758

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。